

□ 要請番号 (JL74518A05)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
キルギス	G159 数学教育		個別	新規	2年	・2018/3 ・2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・科学省

2) 配属機関名 (日本語)

カラコル第3番学校

3) 任地 (イシククリ州カラコル市) JICA事務所の所在地 (ビシュケク市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約6.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

首都から400キロ離れたイシククリ湖東側にある、カラコル市中心部の公立学校で、1-11年生が在籍する小・中・高一貫校である。カラコル市内には12の公立学校があるが、本配属先は生徒数1900名、教員数約100名の大規模校であり、キルギス語とロシア語のクラスに分けられている。これまでに2名の中国人ボランティアの受け入れ経験がある。大学への進学を目指すギムナジウムと呼ばれる進学校であり、言語教育と理数科目に力を入れている。母語のキルギス語、公用語のロシア語の他、英語、ドイツ語、中国語を学ぶことができ、2015-2017年までユニセフの外国語教育支援プログラムに参加した。年間予算約31万米ドル。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は理数科目の生徒の学力向上を目指している。これまでJICAボランティアの受け入れ経験はないが、カラコル市内で活動してきた他職種の青年海外協力隊(JV)の活動ぶりが評判のため、本要請につながった。今後可能であれば3代に渡る数学のJVの受け入れが要望されており、数学教員に対し、生徒主体の数学授業の指導法や教材の工夫・改善が必要とされている。現在、数学の授業は、教員が読み上げた文章問題を生徒が解いたり、プリントで練習問題を解く方法のみに留まっている。ボランティアには授業が難しくなる5年生以上を対象に、生徒の興味を引き出すような指導法の提案、指導マニュアル作成が期待されている。同僚の教員は経験年数5年から30年のベテランまで12名いるが、キルギス語クラスが8名、ロシア語クラスの教員が4名である。ボランティアはキルギス語クラスのサポートを行う。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先で、以下の活動を行う。

1. 生徒主体の算数の授業(5年生)について、指導・助言する。
2. 同僚教員に対し、日本の中学レベルの数学の授業について紹介する。
3. 5年生から8年生の生徒に対し、同僚教員と共にオリンピアダ(学力コンクール)出場に向けた指導をサポートする。
4. 5年生から8年生の学習内容について、教員用の指導マニュアルを作成する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、電子黒板

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長(女性、50代)
教頭(1名、女性、50代)

数学教員(12名、20-50代)
対象学年 5-8年生(キルギス語クラスの生徒数236名)

5) 活動使用言語

キルギス語

6) 生活使用言語

ロシア語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)
(中学校又は高等学校教諭(数学))

[学歴]：(大卒) 備考：同僚が大卒の為配属先が希望

[性別]：(女性) 備考：配属先の希望による

[経験]：() 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(亜寒帯冬季少雨気候) 気温：(-15~30°C位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】

キルギスの公立学校は、1-4年生(6・7-9・10歳)が小学生、5-9年生(10・11-14・15歳)が中学生、10-11年生(15・16-16・17歳)が高校生に該当する。